

長野小学校区内で開催する ～イベントを紹介～

開催日	イベント名	場 所
10月12日(土) 13日(日)	秋祭り(だんじり祭り)	長小校区内各所
10月14日(祝)	ラブリーハロウィーン (仮装ファミリーコンサートほか)	ラブリーホール
10月20日(日)	長野小学校運動会	長野小学校
10月27日(日)	ほのぼのフェスタ(演技発表、模擬店他)	長野中学校
10月27日(日)	高野街道まつり	河内長野駅周辺
11月 9日(土)	長野小学校創立140周年記念展	長野小学校
11月17日(日)	ふれあい楽市きらく市	寺ヶ池公園



平成25年度 長野小学校区まちづくり会議総会 ～ゆめ・街・ながの～ 「元気のあるまちづくりを目指して」 会長 大谷 多美子

平成25年5月29日、長野小学校区まちづくり会議～ゆめ・街・ながの～平成25年度総会を開催いたしました。平成23年7月に、三つの方針①河内長野の玄関口として魅力のある新しいまちづくりの推進②ふれあいのあるやさしさと活力のある新しいまちづくりの推進③安全・安心で快適に暮らせるまちづくりの推進)を掲げ、多くの皆様のご承認を得て発足して以来、早くも2年が過ぎました。

今年度は、昨年に続き、夏休み子ども教室「むかしあそびのひろば」のほか10月に「ほのぼのフェスタ」への参加、また、3月には校区で防災活動を計画しています。さらに新たな取組みとして『専門部会』の立ち上げも含んだ活動計画が承認されました。これからも、校区の皆様と一緒に活動していきたいと考えておりますので、どうか参加・ご協力の程お願い申し上げます。



平成25年度 役員等名簿

会 長	大 谷	多美子
副 会 長	巽	勝彦
//	下 神	洋造
//	向 井	寛司
会 計	辻 野	晶子
事務局長	市 場	慧一
会計監査	三 村	文男
//	塔 本	勝裕
事 務 局	稲 垣	勝宜
//	岡 本	泰子
//	板 東	可奈子
//	石 津	剛

編集後記

私は、この長野小学校区まちづくり会議の発足時に各種団体代表への呼びかけで、～ゆめ・街・ながの～の実現に期待し参加しました。私の所属する長小校区の市こ連(河内長野市子ども会連合会)は、現在、会員数がゼロとなり、長中校区連を含めて役員数名が復活を願って残っている状態となりました。加入しない理由に、自治会や子ども会への加入率の減少と育成者としての意識が低いのが気になっており、子ども達の将来に不安を感じています。他校区では、みんなが参加できるように環境が整っている所もあり、「もっと参加したいと思う子ども達が長小校区にも沢山いるのでは」との思いからこの会議に参加しています。

当初、会議の日程が合わず、ほとんど参加が出来ない状態でしたが、皆さんの心遣いで日程調整などしていただき、参加できるようになりました。まだほとんど役に立っていませんが、他のメンバーの素早い対応のおかげでまちづくり会議も少しずつ盛り上がり出しているように感じます。これからもより良い環境づくりに期待し一層イベント等も楽しみにしています。全住民が参加してもらう大きな防災イベントなども計画していますので、皆様のご意見やご参加よろしくお願いします。

事務局 石津 剛

長野小学校区まちづくり会議 ～ゆめ・街・ながの～

情報紙 第5号
Vol.5 2013.10.1
発行者：長野小学校区
まちづくり会議



題字 長野小学校6年 森下 想菜さん

ほのぼのフェスタ

～10月27日(日) 長野中学校にて開催～

長野中学校区青少年健全育成会では、今年第11回目の「ほのぼのフェスタ」を10月27日(日)に開催します。以前はスポーツ大会と音楽フェスタを開催していましたが、平成15年より、それらを一つにして、一大イベントとするようになりました。回を重ねるごとに地域行事として理解され、盛大に開催できるようになりました。長野中学校吹奏楽部のファンファーレで開幕し、長野小学校・小山田小学校合同のリズム縄跳び、リコーダー演奏、長野高校フォークソング部の演奏と楽しいトーク、長野保育園の園児達による和太鼓演奏・長野総合スポーツクラブのプレバトンとバトンは華やかな中にダイナミックなテクニックを見せてくれます。

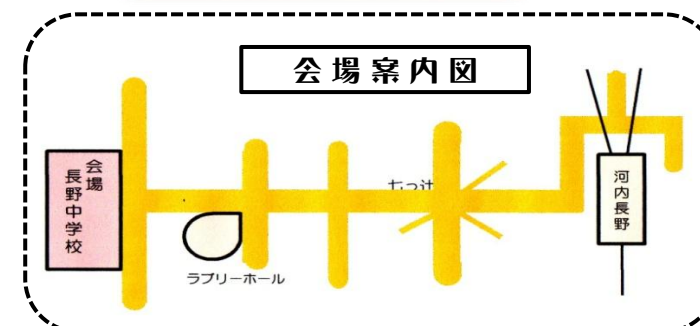
模擬店では、各学校のPTA・他校区の健全育成会・各種団体から出店していただいています。準備から後片づけまでPTA・先生・生徒のみなさんスタッフ他多くの方に協力していただいています。

今回は、長野小学校区まちづくり会議～ゆめ・街・ながの～も参加させていただく予定です。ご家族ご近所お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

◎ 日 時：平成25年10月27日(日) 午前9時30分～午後2時 ※小雨決行

◎ 場 所：長野中学校グラウンド

◎ 内 容：音楽演奏、和太鼓演奏、模擬店、スポーツ・ゲームなど



ひろげよう 長小校区の絆 ～ 校区で活動する団体を紹介 ～

認知症対応型介護施設「グループホームらん」

「グループホームらん」では少人数の家庭的な環境の中、日常生活の継続が自然に営まれています。利用者様が毎日の食事作りや洗濯などをそれぞれできる力で行い、できない人への手助けも自然に行われています。誰もが1人の人として尊重されること、そして喜びも悲しみもみんなで見分かち合える「共に生きる仲間」として賑やかに暮らしています。

スタッフは誠実に向き合うことをケアの基本とし、コミュニケーション能力の向上を目指した研修を継続しています。また、終の棲家として、馴染みの場所で馴染みの人に囲まれながら、尊厳ある最期を穏やかに迎えることができるよう、自然な看取り介護も支援しています。

「グループホームらん」は、認知症の相談窓口として、地域の認知症の人とご家族の皆様が安心して暮らせることを願っています。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。



認知症対応型介護施設「グループホームらん」

河内長野市原町3-5-21
TEL 53-5080 FAX 53-5089

大阪府営長野公園管理事務所 「長野公園」

長野公園をごそんじですか？

手つかずの自然に覆われた長野公園は、河内長野駅から徒歩10分ほどの場所にあります。春は桜、初夏はツツジ、梅雨は

アジサイ、夏は木々の緑、秋はモミジ、冬はサザンカと、都市の中心部でありながら、季節の移ろいを様々な植物で感じさせてくれる、府営



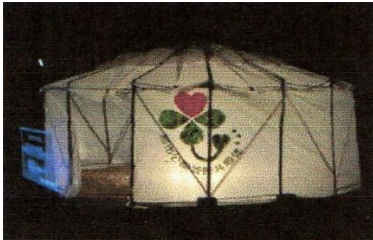
公園として希有な公園です。そんな長野公園ですが、豊かな自然を活かした取り組みを展開しています。その一つとしては昆虫・鳥・魚など、生き物について専門に研究してきた職員が、長野公園を案内してくれる「長野公園生き物ガイドウォーク」を受付けています。親子での参加など、少人数での申込みも受け付けておりますので、お子さんの学習などに是非ご利用下さい。（料金無料、時間は1時間程度、専門家の職員の予定がございますので、事前にお申し込み下さい。）

また、冬には、野鳥の巣箱の掃除をして、春にわたってくる鳥たちの住処を作ってあげる「巣箱清掃&設置会」をNPO法人バードレスキューさんと連携しながら取り組んでいます。こちらも興味のある方は、いつでもご対応しておりますので、気軽に管理事務所までご連絡ください。（料金無料、事前にお申し込みください。）



法人バードレスキューさんと連携しながら取り組んでいます。こちらも興味のある方は、いつでもご対応しておりますので、気軽に管理事務所まで

さらに、取り組みとしてはまだ本格化しておりませんが、竹を使った防災シェルターづくりなども行っています。これは、モンゴルの移動式住居である包（パオ）を模したテントのような仮設建築物を伐採した竹で組み作成したものです。この包（パオ）を活用し、子どもたちでも参加できるような防災について遊びながら学ぶことができるイベントを企画しており、今後長野小学校校区でこれが実現できたら良いと考えております。



私達長野公園では、体験型の自然環境学習の取り組みを推進しています。自然を活用して、遊びながら学ぶ取り組みを進めておりますので、興味のおありの方は、各広報紙などでチェックいただければと思います。

（問い合わせ・申込先 電話：62-2772 担当：大門、川井まで）

地元の歴史物語 ～戦時中の地域安全に尽くした人・田中松太郎さん～

平成23年3月の東日本大震災以来、防災ということが盛んに叫ばれるようになってきました。防災と言えば、もう昔の話となりますが、今から68年前、第2次大戦末期に米軍機より近隣の人々を守るために、献身的且つ勇敢に努めて下さった警防団長が近所におられたことが思い出されてきます。

時は昭和19年後半より20年の終戦頃のこと、場所は今の南海バス野作停留所の周辺付近。人々は米軍機の来襲に備えて、防空壕を掘り、防空演習に励み、灯火管制を厳重に守りながら暮らしておりました。

紀伊半島を北上して来て阪神工業地帯や堺に向かう米軍機は、丁度道筋に当たっていたのか河内長野の上をよく通過して行きました。青空に白い飛行機雲を引っ張って進むB29の編隊を、子供心に怖がることもなく眺めたものでした。

言うまでもないことですが、その当時の情報伝達機能は恐ろしく貧弱で、警戒警報や空襲警報の伝達は鉦やサイレンなどでしたが、音が弱く遠くまで届きませんでした。このような状況下で、いち早く住民に警報を知らせて防空態勢をとらせ、メガホンで避難指示をして人々を安全に導いて下さったのが、当時の野作警防団長の故田中松太郎さんでした。今の野作町自治会館の向いに消防第一分団屯所がありますが、以前その場所に鉄製の高い火の見櫓（半鐘）がありました。警報が出るたびにこの火の見櫓の上に、田中さんの姿がありました。田中さんは、自らをその危険で目立ちやすい場所に置いて、周りの人々に速く防空壕に逃げ込むようメガホンで声をからして叫んでいました。

昭和20年3月14日の大阪大空襲以後、米軍機の来襲の頻度は増し、B29だけでなく、艦載機と呼ばれた小型のグラマン戦闘機も飛んでくるようになりました。土蔵や家の白い壁が、敵機に目立つから黒く塗りつぶすようにとの命令が出される中、6月か7月ごろグラマン戦闘機が南海電車の長野駅を襲撃したことがありました。低空で飛んできて機銃掃射を浴びせ、駅員1名と電車待ちの乗客1名が犠牲となったそうです。それから後の屋間にも、空襲警報が出てまもなくグラマン戦闘機が我が家の近くを低空で飛んできてダダダ・・と機銃掃射の音がしました。その間も田中さんは、火の見櫓の上から懸命にメガホンで避難を呼び続けていました。「クラッ、そこの馬力屋！速よ避難せんか！」今でもこの言葉は田中さんの太い声とともに私の耳の中に残っております。飛行機が機銃掃射をしながら火の見櫓すれすれに飛んで来るのも構わず、懸命になって避難を呼びかけていた田中さんの姿に本当に頭の下がる思いでした。

機銃掃射の銃弾は火の見櫓から300メートルほど離れた長野国民学校（現長野小学校）校門前の家の屋根を突き破って炎上させましたが、学校に駐屯していた陸軍の兵隊さんによって消し止められたそうです。警報が解除になってから銃撃の痕を見に行きましたが、墓屋根に大きな穴が開いていました。

いずれにしろ、一民間人の田中松太郎さんが人々の安全を守るために身を挺して頑張っておられたという事実は忘れられてはいけないと思います。



西代区自治会 区長 下神洋造 記

防災避難訓練の開催（平成26年3月16日）

長野小学校校区まちづくり会議～ゆめ・街・ながの～では、市の危機管理室と協働で、平成26年3月16日（日）に長野小学校で避難体験などの防災活動を予定しています。これは、今年3月に～ゆめ・街・ながの～で実施した防災講演会に引き続き、校区の安全・安心で快適に暮らせるまちづくりをめざすために実施するものです。



日頃から地域で活動されている自主防災活動団体の皆様にもご協力をいただきながら、校区全体で取り組んでいきたいと考えております。ご家族ご近所同士で是非参加いただき、もしもの時に備え防災を考えるきっかけにいただければと思います。



ボランティアを募集しています

～ゆめ・街・ながの～では、安全・安心のための活動として、昨年度より校区における防災活動を進めています。他にも、様々な活動を校区で連携して進めていきたいと考えておりますので、ご協力いただける方は、是非ご参加・ご協力願います。

【問い合わせ先】 「長野小学校校区まちづくり会議 ～ゆめ・街・ながの～ 会長 大谷 多美子」

夏休み子ども教室「むかしあそびのひろば」開催

長野小学校校区まちづくり会議～ゆめ・街・ながの～では、市の行事である夏休み子ども教室事業のうち、8月31日（土）に「むかしあそびのひろば」を開設し、竹とんぼ・ぶんぶん駒・皿回し・紙飛行機類・折り紙・おじゃみなど、ボランティアの方たちにスタッフになっていただき、子どもたちに作り方や遊び方を教えていただきました。子どもたちは期待したとおりの作品が出来ると、満足げに笑みを浮かべて「ありがとう」と言って帰って行きました。

